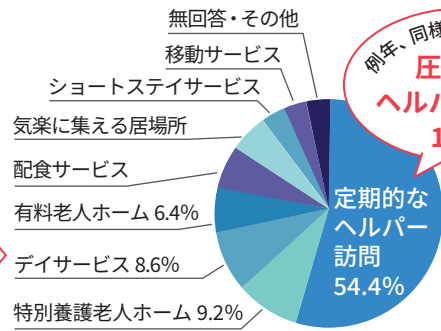


## 在宅介護を支える

- 介護スタッフの処遇改善をすすめます。
- 余暇支援も含めた移動支援の充実をはかります。

Q:「将来介護が必要となった時(または現在介護保険制度を利用中)に、最も使いたいと思うサービスは？」

(生活クラブ運動グループ・横浜エリア連携協議会 2022 アンケートより)



昨年、同様のアンケートで、圧倒的にヘルパー訪問が1位!



緊急院内集会で、厚労省あてに「介護の社会化と在宅介護を後退させないための要望書」を提出。史上最悪といわれた介護保険制度改悪案は、まずはストップ!

## 多様な働き方をひろげる

- 若者や女性の再チャレンジを応援するしくみ、障害があっても働けるしくみを作ります。

援農活動に参加



## まもりつなぐ食・環境

- 都市近郊農業をまもります。環境に負荷をかけない、安心・安全な食と農業への転換を進めます。
- 香料等に含まれる化学物質によっておこる化学物質過敏症「香害」の対策を進めます。

関係省庁に「柔軟仕上げ剤など、家庭用品に含まれる香料の成分表示等を求める要望」を30,057の署名を添えて提出



## 循環型経済で

### 横浜・神奈川を元気にする

- 原発に頼らない脱炭素社会をめざします。
- 再生可能エネルギーで循環型の経済システムをめざします。

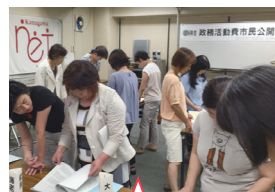
神奈川ネット平田いくよ横浜市議カジノ・IR推進費を含む予算案に反対討論



## 政治改革

神奈川ネットは、企業団体献金も政党助成金も受け取りません。政治への信頼を取り戻すために、政務活動費の市民公開を続けるとともに、政治資金規正法の改正を求めています。

- 個人寄附を広げ、企業団体献金の廃止を提案します。
- 政務活動費の市民公開を実践します。
- 駅や商業施設など投票しやすい投票所を増やします。



神奈川ネットは、毎年度、議員の政務活動費の収支報告書や証憑書類、成果物を公開し意見交換を行っています。

## 三浦紀子レポート

### 必要です!「障害者の夕方支援」

障害児の放課後等デイサービスは、6歳から18歳までのお子さんが通う放課後の通所サービス施設ですが、では18歳を超えた障害のある方はどう日常を過ごすの?ということが実は大問題なんです。放課後等デイサービスに代わる通所サービスは、送迎を含めて16時前後には帰宅というケースが大半で、夕方支援サービスが極端に不足しています。放課後等デイサービスは、利用児童の保護者の就労ニーズの受け皿にもなっていて、「18歳になったから」といって、必要な支援は何ら変わらない人が多くいます。引き続き、横浜市には、障害者の夕方支援に関するニーズ調査を行い当事者、家族の要望・意見をしっかり把握することを求めています。

## 山下ふ頭の再開発計画

- 文化・交流拠点、物流・医療・防災拠点など山下ふ頭のポテンシャルを最大限に生かせるよう市民との対話による検討を進めます。

## 青木マキレポート

私は、カジノ・IR誘致が撤回された後も、第三者による検証や情報公開を求めてアクションを続けています。昨年9月に横浜市が公表したIR誘致事業の「振り返り」では、横浜市の誘致手続きに「瑕疵はなかった」とし、市民の理解が得られなかったから中止になったと結論付けられました。しかし、「なぜIR誘致が取りやめに追い込まれたのか」という本質的な問題こそ検証されるべきです。今後検討される山下ふ頭再開発計画の検討においても、横浜市の透明性ある政策形成と中立的な情報発信を求めています。

鳥畑与一さん 静岡大学教授  
いつもそこに青木マキがいた



横浜市のカジノ反対運動を力強く担った神奈川ネットワーク運動。静岡市在住の私には不思議な存在の中心にいつもいたのが青木マキさんでした。前市議と言われてもピンと来ない「ふつう感」漂う女性だけれど、フェイスブック等で日々の活動を知るにつれ、実に多彩な「生活者の視点」からの取り組みをされているのに感心してきました。「子どもの貧困対策」「フードシェアの活動」などを貫く立場の弱い人たちに寄り添う姿勢には深い共感を覚えます。

地域をより良く変えていく力を大きく蓄えて来られ青木マキさんが、その力を存分に発揮したいという思いが実現し、生き活きと県政で躍動する姿をぜひ見たいと思います。

私たちは応援します



杉田 敦さん  
法政大学教授



向田映子さん  
女性・市民コミュニティバンク理事長 / 元県議・元市議



岡 真人さん  
横浜地方自治研究センター理事長



若林智子さん  
NPO法人ピッピー・親子サポートネット理事長 / 元県議・元市議



小川泰子さん  
社会福祉法人  
いきいき福祉会理事長

